



2010・8・25

事務局

岡谷市長地片間町2-5-5

Tel, fax 0266-28-9230

ニュース No.42

鎮魂と祈りの夏がゆきます。戦争の風化がいわれる中、今まで口を閉ざしていた人たちが、ポツリポツリと戦争を話し出しました。平和祈念式では「核のない世界をめざす」と述べた後の記者会見で「核抑止力は必要だ」などと言う程度のあやふやさはありませんが、核廃絶、平和への動きが世界的に広がり、深まっているのは確かです。

今年の広島、長崎の平和祈念式典の様子は違っていました。国連事務総長や米英仏の代表が、はじめて式典に出席しました。潘（パン）国連事務総長は「今がその時だ」と「グラウンドゼロ（爆心地）からグローバルゼロ（地球上に核のない状態）へ」と訴えました。広島市長は、「今こそ日本政府の出番です。『核兵器廃絶に向けて先頭に立』つために先ずは非核三原則の法制化と『核のかさ』からの離脱一を実現すべきです」と訴えました。

私たちも、倦まずたゆまず「核兵器廃絶」と「憲法九条を守ろう」と呼びかけ続けなくてはならないようです。

活動行事の報告

8月6日（原爆記念日）核兵器廃絶岡谷平和の集い

朝8時小井川小学校昇降口前の公園 アオギリ2世前には、小井川小、長地小、川岸小、笑福楽太鼓、聾太鼓の連中80名をはじめ九条の会会員、「いちいの木合唱団」小学校太鼓連の父母、一般の方々など150名以上が集まり、今までにない盛り上がりを見せた。司会進行、平和の火点火、などすべて小学生の手で進められ、全員演奏で始まり全員演奏で締める太鼓演奏も迫力があり、感動的であった。最後に全員合唱で「ふるさと」を歌い、晴れ晴れとした気分での散会した。

8月15日（終戦記念日）岡谷駅前街頭署名

会員十数名で、花火大会へ向かう人達に2時から1時間半ほど、「核兵器廃絶署名」と「九条の会県民過半数署名」を行った。知らんぷりする人の多い中で、若者達が進んでやってくれるのが目立った。「核兵器廃絶署名」113人、「県民過半数署名」167人。

8月6日 平和の集いに 田中信子

長地片間町2 - 2

被爆二世のアオギリの前で
子ども達は 無心に太鼓を打ちならす
ピース旗が いくつか風にはためいて
この朝の空は あの日とおなじ真夏の色だ

太鼓の音は体に響き 子どもらの心にも響き
虹色の旗は 子どもらの目の奥に焼き付く

原爆の火をともし 平和を祈って黙祷し
平和宣言を 精いっぱいので声で唱えて
子ども達は 晴れ晴れとして 元気に満ちている

この子等に わがふるさとに 平和な未来を

今後の予定

9月9日(木)9999協賛「九条に乾杯」イベント

岡谷パークホテルホール 午後 6:30開場 7:00開演

第1部 「林淳子といちいの木合唱団」一本の鉛筆、わが窮状 など

第2部 ヴァイオリン&チェロコンサート 竹花英里子、渋谷妙
白鳥、ダイスの瞑想曲、ソナタ6番より、金婚式、アヴェマリアなど

第3部 みんなで歌おう

9時9分「ワインで乾杯」 チケット 1,000円(事務局へ)

10月9日(土)例会 DVD鑑賞会 諏訪湖ハイツ大会議室

前座良明 「今日の聞き手は明日の語り手」 午後2:00~

前座さんは、長野県被団協の会長を50年つとめられ、昨年11月に亡くなりました。これは、その最後の講演記録です。

11月13日(土)例会「今がその時だ」戦争体験を話す会

諏訪湖ハイツ 午後2:00~ 座談会形式

いろいろな戦争体験が、今話さないと消えて行きます。多数の出席をお待ちしています。当時を偲ぶ品などありましたらお持ちください。どなたも気軽に話してみませんか。